

## 令和5年度 学校運営協議会（PTA本部役員）で取り上げた項目について

### 分析と今後の改善について（設問②）学習意欲

「学習の意欲」については、昨年度と同じく肯定率が90%近くと高い傾向ではある。しかし、児童、教師ともに「よくあてはまる」が60%であるのに対し、保護者は20%に留まり、意識の差が感じられる。「家庭学習の手引き」を昨年度配布したが、継続して活用できるように4月の学級懇談会で話題にあげて学校と家庭で共通理解を図りたい。

### 分析と今後の改善について（設問③）悩み事への相談

児童が94%の肯定率に対して、保護者は84%となっている。保護者へ教育相談について情報が伝わりにくいかもしれないので、「SC（スクール・コーディネーター）通信」の発行等で教育相談コーディネーターを中心とした相談体制があることを周知していく。

### 分析と今後の改善について（設問⑤）楽しい学校生活

児童も保護者も90%近い肯定率となっている。しかし、12%の児童は困り感をかかえて学校へきている。保護者に寄り添ったきめ細やかな支援を行っていき、学校生活がより楽しいものとなるよう、児童との会話を大切にしながら、様々な教育活動を展開していきたい。

### 分析と今後の改善について（設問⑦）地域とともにある学校

保護者の肯定的評価は、昨年度の74%から81%と増えている。コロナが5類になり、地域の方を招いての授業や教育活動が戻りつつあるためだと考える。また、児童が地域のお祭りや町のイベントにも参加していて、参加した児童より楽しかった話を聞く。子どもたちの健やかな学びを保障していくためにも、町を主とした学校運営協議会を充実させ、学校・地域・保護者の協働による魅力的な学校づくりに努めていきたい。

### 分析と今後の改善について（設問⑩）読書

昨年度同様、児童の肯定率は90%程度であるが、保護者の肯定率は45%であった。児童の肯定率が高いのは、読み聞かせや図書ボランティアの方々の協力による読書活動の推進のおかげである。現段階では、児童が自分で選書し、学校や家で読む習慣をつけるのは難しいと考える。今後は、より児童の興味関心や教科の学びにつながる良書をそろえる環境整備に努め、読書推進について家庭へ啓発しつつ、豊かな心を育む教育活動へつなげたい。

### 分析と今後の改善について（設問⑪）早寝・早起き・朝ごはん

早寝・早起き・朝ごはんができていないと思っている児童が16%といる。中井町の生活実態調査のアンケートでも夜遅くまで起きていて、ゲームやYouTubeに費やす時間が長い。学級懇談会や学校保健委員会等で、メディアのコントロールにより早寝の大切さを伝えていきたい。また、保健委員会の取組をとおして、児童自ら規則正しい生活の必要性に気付かせたい。

### 全体を通して

学校運営協議会議の話合いから、子どもにとって「魅力のある学校」とは、みんなで何かをすることが楽しい、授業がよくわかる、学校で何か困った時、教師が相談にのってくれる等であることを再認識することができました。設問⑤の子どもが楽しく学校生活を送れるように、教師・保護者・地域の方がつながっていければと考えている。